

(議長)

町民福祉課所管の予算並びに関連議案について一括補足説明を求めます。

「町民福祉課長」

(町民福祉課長) (国民健康保険費・後期高齢者医療特別会計 補足説明)

それでは私の方から町民福祉課所管分は、予算表で46ページの8目住民運動対策費。50ページの1目戸籍住民登録費。54ページの1目社会福祉総務費、2目社会福祉施設費。56ページの3目老人福祉費。58ページの5目国民年金事務費、6目の障害者福祉費。62ページの1目児童福祉総務費、3目常設保育所費。66ページの2目予防費でございます。

予算、資料の方にてご説明申し上げます。予算資料の8ページから10ページの事務事業一覧でございます。主な内容のみ、説明させていただきます。住民運動対策費です。41番、町内会自治会活動総合支援交付金。161万2千円でございます。定例会資料の16ページの資料5にもございます。町内会自治会活動総合支援交付金概要でございます。町政執行で町長、述べておりますが、地域活動の中核となる、町内会、自治会活動を充実させるため、従来の敬老会事業助成や、町道などの草刈を行う際の燃料費、助成を集約し。活動中の事故に対応するための、保険料の一部を助成を含めた包括的な制度を創設して、町内会自治会活動を支援して参りたいという考え方でございます。

次に、戸籍住民登録費です。57番、住民基本台帳ネットワークシステム更新419万9千円でございます。これは住民基本台帳ネットワークシステムのあの機器更改とそれから、サーバーを庁舎内から移し、クラウド化を図るという内容でございます。

次に、社会福祉総務費でございますが、こちらの方は例年と大きく変わってございません。

次社会福祉施設費、3施設の維持管理費でございます。こちらの方も、例年と変わってございません。

次に、老人福祉費でございます。こちらもしルバーいきいき活動支援高齢者交通費助成等、等の老人福祉事業を展開してございますが、こちらの方も例年と大きく変わってございません。

次に、国民年金事務費です。これも通信運搬費などの事務でございます。

次、障害者福祉費でございます。予算額4億4,849万5千円、国庫支出金が2億2,838万9千円。道支出金が1億2,083万円と、の財源内容になってございます。各障害者福祉事業は例年と変わってございませんが、91番の育成医療給付事業でございます。こちらは、定例会資料の18ページの

資料7、こちらの方で医療給付事業概要の医療、育成医療給付事業の方でござい  
ますが。これはあの道からの権限移譲された事業でございまして。障害児1  
8歳未満の身体障害を除去、権限するための医療について、医療費の自己負担  
額を軽減することを目的とした公費負担医療制度となつてございます。

次に児童福祉費でございまして。こちらの方も総務費合計予算額が1億809  
万8千円でございますが、事業が子育て支援センター運営。児童会の運営。発  
達支援推進。児童手当の支給等で例年と変わつてございません。

次に常設保育所費でございまして。こちらは保育所の運営と広域入所と保育所  
の人件費となつてございます。こちらの方も、それで定例会資料の17ページ  
の資料6にあたりますが、平成25年度の町立保育所、保育料改定案でござい  
ます。さきほど議員協議会の方でご説明したとおりの内容で、子育てを、子育  
て世代に、保育所保育労働負担感の大きさと、保育料を軽減し、子育て世代を  
支援していく、という内容になつてございます。

次に、予防費の中の当係に関わるものは子供医療費助成事業と、それから、  
117番です。次に118番の未熟児療育医療給付事業でございまして。ご承知  
のとおり、子供医療費助成事業につきましては25年度より、医療費助成範囲  
を中学生までに、までの入院通院等つて拡大してございます。

次未熟児療育医療給付事業につきましても、こちら4月から道からの権限  
移譲された事業でございまして、定例会資料の18ページの資料7に概要が書  
かれていますが、入院を必要とする重症未熟児に対して療育に必要な医療給付  
を助成すると、いう内容になつてございます。関連いたしまして議案書の第1  
7号になります。

乳幼児と医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例についてご説明申  
し上げます。定例会資料の24ページから28ページの資料13、14にてご  
説明申し上げます。概要でございまして、まず対象年齢の拡大に伴い、名称、  
条例の名称及び各条文の乳幼児等を子供に名称改正するものでございまして。

次、第1条の目的の条文中、保健の向上に資すると共に児童福祉の増進の内  
容を時代を担う子供達の健康増進と健やかな育成及び子育て世代の負担軽減に  
改正するものであります。第2条の第1項の条文であります、満12歳を満1  
5歳に対象年齢を改正するものです。

次第4条の助成の範囲ですが、0歳から15歳までの通院入院とする、とい  
う助成対象範囲に改正するものでございまして。

次第9条として、譲渡または担保の禁止条項新たに加えるものです。この条  
例は25年の4月1日から施行する、という内容でございまして。よろしくお願  
いいたします。

次にあの国保特別会計の方に移ります。予算書の117ページから146ペ

ージになります。予算資料では22ページでございます。最初に125ページの事項別明細書の歳出の方からご説明申し上げます。総務費が2,636万。職員人件費等の一般事務管理費でございます。保険給付費7億1,706万4千円。次後期高齢者支援金、1億2,819万9千円。前期高齢者納付金7万9千円。老人保健拠出金8千円。介護納付金が6,042万。共同事業拠出金が1億1,794万7千円。保険施設費が2,135万円で計歳出合計が10億7,262万8千円となっております。

次124ページ戻りまして事項別明細書の歳入の方ご説明申し上げます。国税で2億667万8千円。国庫支出金が2億1,494万4千円。療養給付費交付金が6万1,090万8千円。前期高齢者交付金が3億194万4千円。同支出金が4,662万9千円。共同事業交付金が1億1,235万6千円。繰入金として1億2,784万4千円。歳入合計額が10億7,262万8千円となっております。

予算書の119ページになります。予算の第2条に国保会計の一時借入金の限度額を1,000万とさせていただいております。それから議案書3ページになりますが。議案第14号、平成25年度江差町国保事業会計財政調整基金の処分を4,000万とさせていただきました。税込および各種交付金の増加が見込まれない為に、4,000万円の取り崩しをお願いするものでございます。

次後期高齢者医療特別会計でございます。予算書の152ページの歳入総括の方ご覧いただきたいと思っております。保険料として6,699万、繰入金3,629万4千円。諸収入30万3千円。歳出が153ページになります、総務費が229万6千円。連合納付金、1億3,001万6千円。諸支出金25万5千円。予備費5万。歳入歳出11億559万円とさせていただいたところでございます。よろしく願いいたします。

**(議長)**

はい、次に「ひのき荘荘長」

**(ひのき荘荘長)**

それでは老人ホームひのき荘の所管分についてご説明申し上げます。予算書につきましても、56ページから59ページ下段までの4目の老人福祉施設費でございます。予算資料につきましても9ページ中段に記載の、84番と85番でございます。それでは予算資料でご説明申し上げます。まずあの84番のひのき荘、施設管理ですが。これは施設の維持管理経費でございまして、本年度予算額が2,254万3千円。それから85番のひのき荘運営につきましても

は、入荘者の処遇全般にかかる経費でございまして、6,810万6千円を計上いたしました。それぞれ前年度とは変わったところはございません。

それで86番の職員人件費、7,546万8千円を加えました、ひのき荘にかかる本年度総体予算額は1億6,611万7千円で、前年度予算額に対しまして208万9千円の増額となっております。増額の主な要因につきましては、職員人件費が増額となったものでございます。財源内訳につきましては特定財源のその他で8,150万4千円。その内訳につきましては措置費の他市町村負担金が7,169万3千円。それから、被措置者他の負担金、973万2千円で一般財源が8,461万3千円となっております。以上前年度と大きく変わったところはございません。以上でございます。

#### (議長)

説明が終わりましたので一括質疑を許します。質疑希望ありませんか。

「小林議員」

#### (小林議員)

はい。町民課の方に4点。あとひのき荘の方で1つお尋ねしたいと思います。

まずひとつあの国保財政のところでの今のあの、医療費の動向といいますか、今後の動向。あと財政の現状、状況ですね、今どういうふうになっているのか。楽になっているとも思えませんけれども、その辺の状況わかりましたら教えてください。

それと、国保財政おさえていく上でも医療費、総医療費を抑えるその中でやはり医薬品ですね、今医療費のほぼ3割は薬の関係。内服でいえば半分ぐらいはお薬の関係出てくるかと思えます。で、ジェネリックに対すれば、まああの以前もちょっとお話質問させていただいたことがありますが、ジェネリックの導入で、大分その辺も抑えられるのではないかと。で、1点その保険証の交付の時に、そういうジェネリックへのおすすめ、勧奨と。というようなことも聞いてございますけれども。その辺、現状どうなっているのか、今後さらに強めていくような状況なのかどうか教えてください。

あとは、電子レセプト請求ということで。今医療機関ほぼ9割以上こういう電子レセプト請求になって非常にその今までに比べると各保険者のですね、データ把握が可能になってきてこれをもとにそのまあ予防あたりですね。この辺の有効な活用と、というようなことで考えているところとか、取り組みがあるのかないのか教えていただければと思います。

あと、高齢者の配食サービス、昨年も確か私のあの記憶で数件利用者がおるといようなことは聞いておりましたが。この辺その今年度、また来年度の動

向。それと大きくその進まないようであれば何か大きな問題点があるのかどうか。おさえているところで結構ですので、お伝えいただければと思います。

それとひのき荘の方では、建物のそういう耐震診断といたしますか。そういうような部分。耐震対策といたしましょうか。その辺の取り組みありましたらお伝えください。以上です。

**(議長)**

「町民福祉課長」

**(町民福祉課長)**

国保の医療状況でございますが、あのまだ24年度は終わってございませんけれども。動きといたしましては状況的に、一般の方の医療費が若干、前年度より減されるような見込かと。ただし退職者給付の方がその半面大きく前年度よりなるのかなというそういう見込を持ってもございます。それから財政的な内容でございますけれども、さきほどもお願いしましたように保険料の保険者の減に、保険者数の減。それから各補助金等の減によりましてどうしても25年度予算組むに当たっては4,000万の取崩しをしなければならない、財政状況というような内容になってございます。ただいづれにいたしましてもあの昨年に続き今年25年度も取崩しという状況でございます。これについてはより一層の医療費等の抑制を図るとい、健康予防等の事業の展開図りまして健全国保運協のご意見を伺いながら国保運営に当たっていかなければならないと考えてございます。

次に、医薬品のジェネリック等の導入でございます。これはもう議員ご承知のとおり国をあげて、そちらの方への運動を展開してきました。それで私共の方も、以前更新時にジェネリック等の内容について、被保険者さん方に資料等をお配りした経過もございましてございますけれども。今年につきましてもですね、そういう更新時等にジェネリック等の内容について情報提供していきたいというふうに考えています。

次にレセプトの関係です。データ把握等々の展開のお話でございましたが、現在はご承知のとおりレセプト員の点検関係で精一杯のような状況になっております。ただデータの把握につきましてもこれから、必要な事業の展開になるかと思っております。いづれにいたしましてもレセプトの内容のデータ等にして、次の国保の運営に健全な展開ができるような事業、そういうデータの活用を図っていきたいというふうに、検討をしていきたいと思っております。

次に高齢者配食の関係でございます。昨年も議員よりご質問ありました昨年時に、新たな業者配食業者さんの動きがあったのですけれども。結果としては

あのちょっと30日ではされなかったという経過もありますけれども。いずれにいたしましてもそういう配食業者をやっている事業所というのが3、4件町内にございますので。これらについてまた色々な意見を伺いながらですね。色々な配食サービスの展開をしていきたいと考えてございます。

**(議長)**

「ひのき荘荘長」

**(ひのき荘荘長)**

ひのき荘の耐震の状況はどうかというご質問でございますが。あの現実ひのき荘につきましては昭和40年の開設でございまして、その後増改築を繰り返して現在に至っておりますけれど。そういった部分から見ますとですね。当然、耐震性は低い現状にある、というふうに考えております。

**(議長)**

はい、小林議員いいですか。

「小林議員」

**(小林議員)**

はい。その高齢者の配食のところで、現状利用者何件いらっしゃいますか。

**(福祉課長)**

はい。24年度につきましては7件、7世帯の方がご利用になっています。

**(議長)**

いいですか。

**(小林議員)**

はい。

**(議長)**

次「小野寺議員」

**(小野寺議員)**

はい、議長。昨日の一般質問で私の部分と小林議員の部分で実は共通する部分では見守り、なのです。それであえて昨日は福祉サイドの側面、それから小

林議員の場合は保健衛生、というか。ということで、あの少し昨日の一般質問の答弁をふまえ、少しもう少し細部確認したいと思います。それでみんな共通しますけれども、その関係で3点、もしくは4点。お聞きします。

でまずひとつ。見守りという観点で、実は保健、保健衛生？高橋課長のところ。高橋課長のところで、認知症サポーター養成というのをやっております。これは、そこでまたもう少し聞きたいと思っているのですが。見守り活動するとすれば、いわゆる独居老人対策と合わせてこの認知症の方をサポートするのもある意味ではかなり重複するといいますか、します。でこのサポーター養成という部分については、全国的に進めて、これはもうちょっとあとで高橋課長のところでお聞きしますけれども。結果的に見守りということからいくと、共通部分がありますが、現在先行している町民課の部分の見守り、との関連連携、町長の執行方針では、連携して、これは孤立死対策ですが同じことですね。各課と横断体制をとり、という部分になっております。この点、今町民課サイドから見て、このサポーターとの関連をどのように考えているのか。教えていただきたいと思います。

それから、合わせてなのですが。去年一昨年から、いわゆる社会福祉計画実践計画ということで、社協の部分で一定程度動きがありました。で、結果的にこういう見守り活動的な部分についての社協との関わり。社協の動き、ちょっとよくわからない。ましてや社会福祉実践計画的なものも、それがどのように動くのかもちょっとよくわからないので、改めてちょっとお聞きしたいと。

それから、ごめんなさい。3点目になるかもしれませんが、町内会への助成でこの項目の中に、助成ですねトータルしたと。で対象経費などに1234、4番目。町内会自治会住民意識の高揚と連携促進に資する活動。これが入るのかどうかわかりませんが、町内会でそういう見守り活動的な部分をもし色々やるとすると、それも対象になるのかどうなのかも含めて、ちょっとお聞きしたい。まず一問目。以上です。

**(議長)**

「町民福祉課長」

**(町民福祉課長)**

第1問の見守りの関係でございます。昨日も町長と答弁をさせていただきましたけれども、あの現在江差町地域支え合い事業ということで、健康推進課の方で今議員おっしゃったような認知症の関係の事業の展開をしております。私共では要援護者整備の事業を展開しております。これも24年度の内容を持ちましてですね、あの25年度には何といたしますか。同じテーマの見守りで

ございますので一体となった活動が、できるように取り進めることとして、健康推進課と協議中でございますので。ぜひその辺は実現していきたいと考えてございます。

それから、社協の動きでございます。ご承知のとおり昨年度から社会福祉推進員というかたちで1名配置されてございます。当然このような見守りの関係でも、町連老連さんの力も借りていかなければ、地域全体で支え合っていかなければならないということでございますので。その窓口として推進員さんがいらっしゃるわけで。ぜひこの辺の連携も強化しながら、社協さんはある意味では介護保険事業所の方も展開してございますけれど。そういう各事業所との何ていうか支え合いも体制作りの参加についても、あの全体で、地域全体で支え合っていく。そういう体制づくりをしていきたいと考えていますのでその辺の社協との連携をより一層強化していきたいと考えています。

次に、総合支援でございますけれども、項目の4、こちらは住民意識の高揚と連携促進に関する活動、内容でございますけれども、これは私共は例えば防災だとか、交通安全。それから防犯色々なかもめ島まつりの千人パレードの町内会参加していただいたり、というようなそのような内容がこの項目に入るかと考えていますし当然、見守りの部分についてもこの事業の内容とにおさえております。以上です。

#### (議長)

はい、「小野寺議員」

#### (小野寺議員)

まず1つ。社協、なんですけど率直に言って、まあ町内会連合会の事務局、老人クラブ連合会の事務局、高齢者事業団、などなどはわかるのですが。今こういう見守り一番ほんとに孤立死対策見守り事業なども含めて、私も色々関わっているのですがよく見えないのです。まあこれからのことも含めてもう1回ちょっと、教えて下さい。

それから、町内会自治会活動総合支援交付金。私昨年のもので対比してないので、ちょっと不勉強で申し訳ない。今回この総合的に191万2千円ということになりました。従前の町内会関係で色々補助金、敬老会事業とか、そういう部分を合わせてこうなったのでしょうか。金額的に、金額的にどうなっているのか。結果的に同じなのか増えているのかちょっとそこ、教えてください。事業展開によっては必ずしも各町が各町内会がですね、そういうふうに配分なんていえばいんでしょうかね。交付なるのかどうかよくわかりませんが、まず昨年と比べてどうなのか。教えてもらいたい。



あと最後。総務費の方で、職員の配置のこと聞きました。あのときの問題意識の1つが率直に言って金子課長のところなのです。1つは。あのこの1年間私も色々町民の方との関係で色々お世話になりました。ほんとに、ある意味じゃ住民の命、暮らし守ってもらいました。が、忙しくて忙しくて仕方ないから次の日行ったりとかですね。もう本当に頭下がる思いですけども一方、結局職員がいないから次の日いく。来週に回す。足りないのかどうかもわかりませんが、まあ場合によってはこれもう1回総務課なのかもしれませんけれども。職員の配置として今色々なことが増えていますねこの数年。全体的にどうなのか、私は職員増やせということも含めて適正配置という具体的には町民課、の部分でお聞きしたいと思います。

**(議長)**

はい、町民福祉課長。

**(町民福祉課長)**

あの見守りについてでございます。これは、基本的には町内会さんなり自治会さんにもお願いしなければならないし、議員ご承知の話。民生委員さんも当然関わってきますし。当然あの社会福祉協議会としても当然その一旦を担うべき、というふうに考えてございますので、連携はこれからも強化していくという考え方でございます。

次に、自治会支援金の関係でございます。これはあの既存の事業と同じものとしては敬老会事業。それからあの清掃燃料代ですね。草刈の。これは変わってございませぬ、変わらないというか同じ様な認識でございますが。ただ保険料の一部助成。これは対人対物の保険の内容の加入する保険料の2分の1ですけども、その一部を助成させていただいております。

それから、4項目目に該当する部分については、あの新たな新規事業の加入なり、あのプラスなりますのでその分があの保険料の分とプラスなってくというふうにおさえていただきたいと思います。

**(議長)**

「副町長」

**(副町長)**

少し今の課長の答弁を補足したいと思います。社協との関わりの問題ですが確かにもう現実的にはですね、社協が本来的なその地域福祉活動を実践するというような点ではそういう状態に至っていないことは事実でございます。その

辺は強化しようということで来年、去年昨年辺りからですね、そういう手当をとらせていただきました。まあ社協さんの方もこの前会長さんのお話でも随分変わりつつあるというようなそういう、お褒めの言葉をいただきながらやっているのですが。もう少し組織的にですね社協と町の間をあの濃密な関係にしようということで。まあこれからあの3月の末に向けてですね、あの社協さんの方と協議を深めたいということで先日その会長さんともお話をしたところでございます。

それから、町内会の包括補助金というのはですね、いってみれば町内会の使い勝手のいい補助金に交付金にしたいということがございまして。毎年町内会の町政懇談会した段階ではですね、例えば燃料費草刈の燃料費、請求書を出しなさいと。請求して申請してくださいというようなことであつた。そんなものいいだろうと、まあ出さなくても包括的に補助しますからということで。使い勝手のいいということを目指した交付金でございます。金額的には今財政に確認しましたら昨年度と比べて総体で100万ぐらい増えていると。いうことでございます。それから職員の配置でございますが、どの部署でどういうふうにして小野寺議員おっしゃっているのか知りませんが、現状のところでもしも、そういう町民の方にですね、忙しさを理由に不都合かけているのであれば、私共はあの全体的な配置は加不足がないというふうに判断してございまして。そういうことでもしもご不便をかけているような局面があるとすれば、担当課の課長ときちんと協議をして参りたいというふうに思っております。

**(議長)**

いいですか。はい、他に質疑希望ありません。

**(大門議員)**

はい。

**(議長)**

「大門議員」

**(大門議員)**

1つ。ひのき荘の件なのですが、ひのき荘の定員数は受入れ定員数は何人になっていて今入居者何人なのか。

それと今以前と違いまして入居者自体も、今要介護を受ける方がかなり多くなっていると思うのですがその辺のところ職員さんの負担っていうのもかなりなっていると思うのですがその辺の関係をひとつお願いいたします。

どのようにしているかという。

もう1点。町長、前からひのき荘は民間委託ということを考えていると築もう40年っていうことで、ですからその辺の状況的に民間なかなか難しいところもあるということでしたが何かあの進捗状況とか進んでいるのかどうかということをお尋ねします。

**(議長)**

「ひのき荘荘長」

**(ひのき荘荘長)**

ひのき荘のまず定員につきましては現在80名。それで今現在70名の入居状況です。それがかなり介護度っていいですか介護認定受けている方も、現在70名のうち30名受けていまして、まあ率にしますと42,9%ということであの年々やはりあの介護度増した方が多くなって、当然負担も確かに現実的には増えていると、いうことですが。ただまあ介護保険使いましてまあ介護サービス、受けている方もあの増えておりますのでそれほど急激なあのなんていいますかあの負担な状況にはないというふうに考えています。

**(議長)**

「町長」「副町長」

**(町長)**

あのひのき荘の民営化の状況でございますが、数件の一年間でということ、ここ数年間で数件の事業所さんからひのき荘の委託について民営化について打診があったことは事実でございます。現在もございまして、まあその内容今、今段階でつまびらかにするような状況ではございませんけれども。あのそういう状況にございまして、もし少しその議論が熟すれば、また議員のみなさんともご相談しなければならない、そういう機会もあるかというふうに思いますので今のところそういう答弁でご勘弁をいただきたいというふうに思います。

**(大門議員)**

はいわかりました。

**(議長)**

はい他に質疑希望ありませんので町民福祉課ひのき荘所管の予算並びに関連議案についての質疑を終わらせていただきます。

13時まで休憩いたします。